

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	公共交通利便性向上検討事業			担当部局庁	沖縄振興局		作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	参事官(振興第一担当)		野本 英伸		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2021 日本の未来を拓く4つの原動力～グリーン、デジタル、活力ある地方創り、少子化対策～(令和3年6月18日閣議決定)				
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄本島中南部都市圏では過度な自家用車依存による深刻な交通渋滞が発生し、住民生活のみならず観光や産業などの面で沖縄振興の大きな支障となっている。深刻な渋滞解消のために、改築事業などのハード整備と併せて公共交通活性化等のソフト施策も必要とされていることから、公共交通の利便性向上等による自家用車から公共交通等への転換を図り、渋滞を緩和し、持続可能な公共交通や観光・まちづくりに資する方策の検討を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自動車交通の流れや公共交通の利用者特性などの交通特性及びまちづくりの方向性等について、データ収集及び分析を実施する。また、公共交通利用促進の阻害要因や課題の整理を行い、沖縄における公共交通等への転換を図るための方策について検討を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	15	20		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	15	20		
	執行額		0	0	0				
	執行率(%)		-	-	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	交通環境等改善調査委託費		15	20					
	計		15	20					
活動内容 (アクティビティ)	沖縄における過度な自家用車依存から脱却し、公共交通等への転換を図るための調査及び検討を実施する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	今後取り組むべき方策を検討するための調査を行う。	調査の実施	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	1	1
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	公共交通の利便性向上等による渋滞緩和に向けて、今後取り組むべき方策を検討するための費用から単位当たりコストを算出 X:執行額/Y:調査数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	15
				計算式	百万円/件	-	-	-	15/1
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)									

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	公共交通の利便性向上等による渋滞緩和に向けて、今後取り組むべき方策を検討するための事業のため。								
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 5年度	
	公共交通の利便性向上による渋滞緩和に向けて、今後取り組むべき方策を検討するための調査	調査の実施及びとりまとめ報告書の件数	実績	件	-	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	1	1	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	9. 沖縄政策							
	政策評価	施策	9. 沖縄政策沖縄振興に関する施策の推進		政策評価書 URL	-				
					該当箇所	-				
	再生計画改革工程表 2021	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	分野:	-						
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-							
		該当箇所	-							
事業所管部局による点検・改善										
	項目				評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	自家用車から公共交通等への転換をはかることで慢性的渋滞の緩和、そのための多様な移動手段の確保など持続可能な公共交通・まちづくりへの転換を図るものであり、国民や社会のニーズは高い。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本調査は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自発的な取組にゆだねる性質のものでもないため、調査の効率性の観点からも国が率先して実施する必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	自家用車から公共交通等への転換をはかることで慢性的渋滞の緩和、そのための多様な移動手段の確保など持続可能な公共交通・まちづくりへの転換を図るものであり優先度は高い。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				-					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				-					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				-					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-					

事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	過去の類似した調査検討事業との連続性を意識しながら、より効率的・効果的な事業の実施に努めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	行政事業レビュー推進チームのご所見を踏まえ、効率的・効果的な事業の実施に努める。			
備考				
-				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
令和3年度	2021	府	新22	0010
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。			
	<pre> graph TD A["内閣府 15百万円"] -- "事業の企画立案" --> B["【一般競争入札(総合評価)等】"] B --> C["A: 民間企業等 15百万円"] </pre>			